

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2003-258462(P2003-258462A)

【公開日】平成15年9月12日(2003.9.12)

【出願番号】特願2002-59672(P2002-59672)

【国際特許分類第7版】

H 05 K 7/18

G 06 F 1/16

G 11 B 33/12

H 05 K 5/02

// H 05 K 7/14

【F I】

H 05 K 7/18 L

G 11 B 33/12 3 1 3 M

G 11 B 33/12 5 0 1 A

H 05 K 5/02 H

G 06 F 1/00 3 1 2 N

H 05 K 7/14 P

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月25日(2005.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筐体内に複数の小型ユニットを引き出し可能に並設してなる電子装置において、前記筐体と前記小型ユニットとを固定する鍵穴を前記小型ユニットの前面に設け、前記小型ユニットと別体のハンドルに設けられる鍵部を前記鍵穴に嵌合させることにより、前記小型ユニットと筐体との固定状態を解除するとともに、このハンドルと小型ユニットとを固定し、前記ハンドルを介して前記小型ユニットを前記筐体から引き出し可能に設けたことを特徴とする電子装置。

【請求項2】

筐体内に複数のレールを並設してなる本体筐体と、該レールを介して引き出し可能に取り付けられる複数の小型ユニットと、前記小型ユニットを取り出すためのハンドルとを備えた電子装置であって、

前記ハンドル部は、前記小型ユニットに形成される鍵穴に挿入可能な鍵部と、該鍵部の端部を出没させるロック解除ボタンとを備え、

前記小型ユニットは、該小型ユニットを前記本体筐体内の所定の位置に固定するロック機構部を備え、

前記ロック機構部は、前記小型ユニットの前面に設けられる前記鍵穴と、該小型ユニットの外装を構成するユニット筐体の周側面に出没可能に取り付けられる固定ツメと、前記鍵穴に挿入される前記鍵部の出没動作とともに前記固定ツメを出没させる連結機構部とを備え、

前記連結機構部は、前記鍵部の回転とともに前記鍵部を前記鍵穴内に固定することを特徴とする電子装置。

**【請求項 3】**

前記請求項 2 記載の電子装置において、  
前記ハンドルは、グリップの長手方向の一方に前記鍵部と前記ロック解除ボタンが対向して配置されることを特徴とする電子装置。

**【請求項 4】**

前記請求項 2 記載の電子装置において、  
前記小型ユニットは、前記ハンドルが前記小型ユニットに連結された状態での引き出し動作にともなってロック状態を解除する第2のロック機構部を備えていることを特徴とする電子装置。